

2025年5月15日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

BTK阻害剤docirbrutinib (AS-1763)に関する欧州血液学会 (EHA) 2025での発表のお知らせ

6月12日から15日にイタリア・ミラノにおいて開催される欧州血液学会 (European Hematology Association 2025 Congress) において、当社が臨床試験を実施中の次世代型BTK阻害剤 docirbrutinib (AS-1763) のフェーズ1b試験における安全性・有効性に関する初期データに関する発表が行われますのでお知らせいたします。

docirbrutinibは当社が創製したブルトン型チロシンキナーゼ (Bruton's tyrosine kinase, BTK) を標的とする高選択的な非共有結合型BTK阻害剤であり、共有結合型BTK阻害剤を含む少なくとも2ライン以上の全身療法に不応もしくは不耐の慢性リンパ性白血病 (CLL)・小リンパ球性リンパ腫 (SLL) およびB細胞性非ホジキンリンパ腫 (B-cell NHL) の患者を対象としたフェーズ1b試験を米国で実施中です。

本発表は、テキサス大学MDアンダーソンがんセンター白血病科教授Nitin Jain医師を筆頭著者とし、全治験実施施設の治験責任医師が共著者となって行われます。

発表番号：PF573

ポスタータイトル	Preliminary Results from a Phase 1b Study of Non-covalent Pan-mutant BTK Inhibitor Docirbrutinib (AS-1763) in Patients with Previously Treated B-cell Malignancies
セッション	ポスター・セッション
発表日	2025年6月13日
発表者	Nitin Jain ¹ , Catherine C. Coombs ² , James D'Olimpio ³ , Nirav N. Shah ⁴ , Jacqueline Barrientos ⁵ , Seung Tae Lee ⁶ , Andrew Gillis-Smith ⁷ , Shuo Ma ⁸ , Shirou Kiritani ⁹ , Masaaki Sawa ⁹ , Kyoko Miyamoto ¹⁰ , Akinori Arimura ¹⁰ , William G. Wierda ¹ , Varsha Gandhi ¹¹ , Javier Pinilla-Ibarz ¹²

1 Department of Leukemia, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, 2 Division of Hematology/Oncology, Department of Medicine, University of California Irvine Health, 3 Clinical Research Alliance, 4 Division of Hematology/Oncology, Medical College of Wisconsin, 5 Mount Sinai Medical Center, 6 Greenebaum Comprehensive Cancer, University of Maryland Medical Center, 7 Hematology/Oncology, UMass Chan Medical School/UMass Memorial Medical Center, 8 Division of Hematology-Oncology, Department of Medicine, Robert H. Lurie Comprehensive Cancer Center, 9 Carina Biosciences, Inc., 10 CarinaBio USA, Inc., 11 Department of Experimental Therapeutics, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, 12 H Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute, Moffitt Cancer Center

アブストラクトは以下からご覧になれます。

[EHA Library - The official digital education library of European Hematology Association \(EHA\)](#)

以上

BTK阻害剤docirbrutinib (AS-1763)について

docirbrutinibは、慢性リンパ性白血病（CLL）を含む成熟B細胞腫瘍（血液がんの一種）の治療を目的として開発中の、野生型および薬剤耐性変異型BTKの両方を阻害する高選択的で非共有結合型の経口投与可能な化合物です。イブルチニブを代表とする共有結合型BTK阻害薬は、CLLや他の成熟B細胞腫瘍の標準選択薬として使用されています。しかしながら、多くの患者で、BTKの481番目のシステイン残基（C481）がセリンに置き換わる変異が生じて、共有結合型BTK阻害剤の結合が弱まり、薬剤耐性になることが報告されています。また、ピルトブルチニブを含む開発中の非共有結合型BTK阻害剤に対する新たな耐性変異も報告されています。docirbrutinibは、野生型BTKおよび薬剤耐性変異型BTKのリンパ腫細胞の両方の増殖を強く阻害することから、野生型のみならず薬剤耐性変異型BTKをもつ患者の治療にも有効と考えられ、次世代型BTK阻害剤として開発を進めています。

現在、米国においてフェーズ1b試験を実施しており、2024年10月から用量拡大パートの投与を開始しています。（NCT05602363）